



<プログラム>

- I バロック名曲選より
  - 1 かなし 望みなき わが愛 モンテヴェルディ
  - 2 なげき うたえ イスラエル カリッシミ
  - 3 さかえ あれや キリストに シュツ
- II 混声合唱組曲 トパーズの旋律 より
  - 薩摩 忠 作詩
  - 斉藤高順 作曲
  - 伴奏 岡崎 由紀子
  - 1 カーネーション
  - 2 水の花
  - 3 まつよいぐさ
  - 4 サルビア
  - 5 サフラン
- III なつかしい合唱曲
  - 伴奏 大沢 容子
  - 1 野ばら ハートマン
  - 2 川辺にて ホヘミア民謡
  - 3 きけ駒鳥のうた ホソ
  - 4 ビアたるポルカ ウラヂミール・チム
- IV 混声合唱組曲 筑後川
  - 丸山豊 作詩
  - 団伊玖磨 作曲
  - 伴奏 菅野 孝志
  - 1 みなかみ
  - 2 ダムにて
  - 3 銀の魚
  - 4 川の祭
  - 5 河口

<団員名簿・出演者名簿>

金晶堀	矢山川	妙房洋	子子子	< Sop. I >	山菊蛇	口池口	世子子
中野	野村	美和子	子子子	< Sop. II >	中藤松	野井山	田鶴子
菊池	藤池	僚礼子	子子子	< Alt. I >	藤玉佐	井山々	弘敬子
右近	谷川野	静信師	子子子	< Alt. II >	佐々木	川村田	由昌子
吉八	重樫	淳富喜	子子子	< Ten. I >	矢菊	吹池	隆昭志
鈴木	齊藤	フジエ	子子子	< Ten. II >	根阿菅	田部野	幸正悦
福尾	田形	英清夫	子子子	< Bas. I >	及佐森	川藤	幸一洗
吉目	田時	睦政壮	子子子	< Bas. II >	牛加橋	越藤本	純学一
佐々	木々	一	子子子				
石川	川池	章光	子子子				
菊金	矢田	久五郎	子子子				
吉							
内照	藤井	寛隆	子子子				
越	野	修	子子子				

<指揮者・ピアニスト・役員>

常任指揮者	千葉了道
ピアノ	
委員長	吉田久五郎
副委員長	
会計	
パートリーダー	Sop.
	Alt.
	Ten.
	Bas.

<主な活動> 昭和45年 1970年

練習会場を岩手女子高校へ

10/10(日) 岩手国体エキシビジョン参加

北声会合唱団

第5回

## 合唱演奏会

指揮 千葉了道

1970. 7. 17 (金) 開演 PM7:00

場所 岩手教育会館ホール



ごあいさつ

指揮者 千葉了道

アマチュア合唱団の常任指揮者は、多様で複雑な任務をもっている、とある音楽雑誌に書いてありました。正にその通りで、楽譜のガリ切りからステージでの指揮まで、という事が別に問題なく行われています。

北声会合唱団は、私も一団員という気持ちで創設に参画したので、特に私には当然の事の様に思われるでしょう。

「歌うことが好きだ」は合唱団を支えている最も大切な要素です。公開の演奏会など、不必要という団員もいます。然し音楽は、共感する多くの方々と語り合う、緊張や拍手の中で語り合う、というところに生き生きとしたよろこびがある様に思われます。アマチュア合唱団の場合は殊にそうなのではないでしょうか。

北声会合唱団が発足する時、私たちは北国らしい線の太い、たくましい合唱団になろう、と話していました。五年の年月が、そういう願いに近よれたかどうか甚だ疑問ですが、惜一杯演奏に取りこんで見ます。

ごあいさつ

委員長 吉田久五郎

今晚は、私達北声会合唱団の第五回演奏会において下さりまして、ありがとうございます。つたない演奏ではありますが、せいぜい歌いますので、団員と共にこの音楽会を盛り立てて下さるようお願いいたします。

最近、西洋の一流の演奏家や演奏団体の来日が相ついでいますが、それらのすぐれた演奏に接して感ずることが二つあります。

一つは、音楽の鑑賞は生の演奏を見て聴かなければ真価はわからないということ。テレビやレコードでは感じられないプラスアルファが大きい。

二つは、その演奏や演奏家を生みださせたものは、その国や都市の人々とその伝統ということ。この意味で、地元の演奏者を育てることが、大切になってくると思います。

幸いに盛岡でも、この頃地元の人達の演奏会が盛んになりました。器楽ではバイオリンやピアノ、声楽では独唱や合唱など、内容も以前にくらべると格段の進歩で、すぐれた演奏を聴かせてくれるようになったのは、うれしいことです。

さて、私達の演奏は？ あとでご批判をおきかせ下さるようお願いいたします。